

JR連合 2008春季生活闘争

グループ労組 FAXニュース

No. 5

2008年 3月24日

日本鉄道労働組合連合会

JR連合グループ春闘

08春闘 JR 7単組が大きな成果！

『ベア獲得！割増率アップ！非正規社員の社員化！』など
JR連合グループ労組も成果獲得へ奮闘しよう！

JR連合7単組は、3月21日、全ての単組で妥結に至った。連合が設定した「第一のヤマ場」において、先行したJR5単組（JR東海ユニオン、JR西労組、JR九州労組、JR東日本ユニオン、JR北労組）では、「純ベア獲得、夏季手当増額、割増率アップ、非正規社員の社員化、パート契約社員の時給アップ、扶養手当の増額」などの大きな成果を勝ち取った。

そして「第二のヤマ場」では、JR四国労組、貨物鉄産労が、ベア獲得には至らなかったが、諸労働条件改善について昨年を上回る成果を獲得した。

2008春季生活闘争は、「生活の維持向上をめざし、社会的な分配のあり方に労働組合として積極的に関与し、内需拡大などマクロ経済への影響力を発揮する。」ことを目標に掲げ、積極的に成果配分の拡大・是正に取り組んできた。

連合中間集計によると、今春闘でのパート社員の時給引き上げは、対前年比で4.18円増額、正社員への登用制度は、要求した組合の内、半数以上で前向きな回答があり、交通費や慶弔休暇の改善でも成果が出ている状況にある。

今後は、ステージがグループ春闘へと移行する。JR連合では、本日『JR7単組の妥結』結果を踏まえてのコメント』を発行するとともに、「JR連合グループ労組全73単組」にむけて「檄文」を送付して支援行動を実施した。既にグループ労組で1単組の妥結を見ているが、JR連合グループ73単組は、「JRグループにふさわしい賃金体系の実現」にむけて、総力をあげて奮闘しよう！

<参考資料>

- ・JR連合「2008春季生活闘争『JR7単組の妥結』結果を踏まえてのコメント
- ・連合2008春季生活闘争、パート労働者待遇改善調査集計【全体版】
パート労働者調査集計は、「連合」ホームページにも更新されています。

2008 春季生活闘争「JR7単組の妥結」結果を踏まえてのコメント

2008年3月24日
日本鉄道労働組合連合会
(JR連合)

JR連合加盟のJR7単組は、3月21日、全ての単組で妥結に至った。

先行した5単組では、連合が設定する「第一のヤマ場」において、JR東海ユニオン、JR九州労組での純ベア獲得・夏季手当増額、そして、JR西労組の実質ベアに相当する初任給改訂に伴う基本給の加算、年間臨給や諸制度の改善、JR東日本ユニオンのベア相当額の獲得など、大きな成果を収めるほか、割増率アップの獲得、非正規社員の社員化、パート契約社員の時給アップなどの成果を勝ちとった。また、JR北労組でも、3月15日未明になって回答を受け、ベア獲得には至らなかったが、扶養手当の増額など諸労働条件の改善が図られた。

その後、「第二のヤマ場」において、JR四国労組、貨物鉄産労で回答を引き出したが、残念ながらベア獲得には至らなかった。しかし、諸労働条件改善要求において前進する回答を得るなど、昨年を上回る成果を獲得することができた。

今日までの闘いを概観すると、JR連合2008春季生活闘争代表者会議や執行委員会において決定した各種戦術と、それぞれの各単組の奮闘が奏功してきたものと言えると同時に、JR連合として連合加盟組合の責務を十分に果たしたものと言える。

さて、2008 春季生活闘争は、「生活の維持向上をめざし、社会的な分配のあり方に労働組合として積極的に関与し、内需拡大などマクロ経済への影響力を発揮する。」ことを目標に掲げ、積極的に成果配分の拡大・是正に取り組んできた。既に、グループ労組で1単組の妥結を見ているが、今後はステージがグループ春闘へと移行する。

上記7単組の妥結結果を受けて、その成果を効果的に波及させながら、JR連合に加盟するグループ73単組は、「JRグループにふさわしい賃金体系の実現」のため、「同一価値労働・同一賃金」の原則に基づき、正々堂々と交渉に挑み、大きな成果を獲得されることを期待する。

JR連合は、各エリア連合と連携して全力で各単組の交渉を支援する決意を表明する。グループ各単組は、連合の設定する第一次解決促進ゾーン(3月31日～4月5日)での回答引き出しに向け、交渉を一層強化することを要請する。